

校長室通信

小国町立小国中学校

令和4. 7. 15(金)No11

文責 狭間卓史



「つながる SDGs」

小国町が「SDGsの町づくり」を進めていることを受けて、本校でも「総合的な学習の時間」を中心に、全校を挙げて学んでいるところです。

具体的には「総合的な学習の時間」の年間計画を見直すと共に、各教科の学習内容との関連性を明確にし、効果的・効率的な学習計画に編成し直し取り組んでいます。

その取り組みの延長上にあるのが、現在取り組んでいる、生活のしやすさとジェンダー対応を図る制服の検討や、校則の全面見直し、その他にも、現在の8年生が昨年度から取り組んでいる「ジェンダーの方々に配慮したトイレマークの変更の検討」等もあります。様々なことを学びながら、一歩ずつ進めているという現状にあります。

そのような状況にある本校の取組を、今週14日(木)には、県内在住の山脇竜馬さん(写真&映像特化型コンテンツクリエイター)と井本陽南さん(熊本学園大学在籍)が取材をしてくださいました。お二人は小国町のSDGsの取組について取材をしていらっしゃる、その一環で本校のことを取り上げてくださるとのこと。その取材の様子的一端は、今後小国町ケーブルテレビでも紹介していただけるということです。詳細が決まりましたら改めてお知らせします。

また、12月には壱岐市立勝本中学校とのオンライン交流会も予定されています。SDGs学習を通じて、様々な方とつながることが出来て、新たな学びへの刺激を得る機会を楽しみにしています。

「つなぐ SDGs」

8年生のSDGs学習の一環で一つの班が「ペットボトルキャップ集め」を行うことになりました。

穴見凜子さん、椿山正さん、波多野琉愛さんの活動班(担当:坂田生活指導員)です。

この取組については昨年度の9年生も取り組んでいました。昨年との違いは集める期間を限定すること、集めたキャップの活用方法がより明確に把握できること、本校が集めたキャップがいくら分になるのか、WEB上で随時確認できる預け先を選定していることです。第一弾として、夏休み明けに集めますので、子どもさんを通じて学校に持参願います。

また、コロナ禍での実施ということもありますが、えた場合、ご家庭で洗浄後のものをご提供ください。あらためてお願い致します。

※この通信のカラー版は、「小国中学校ホームページ」でご覧いただけます。



【取材をお受けするのも貴重な学びの機会です】



【熱心に取材していただきました】



【活動への承認を得るために、校長室に
来室した時の様子です。立派でした。】

リサイクルに活用していくことを考
ご家庭の皆様のご理解とご協力をあ